

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園
園長 佐藤恒次

自己評価の実施について

令和4年2月17日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

令和3年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

	内 容	評価員	職員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	A
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	A	B
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	A	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ふれあい花の道”“ピオトープ”“広場”などの自然体験を通じた活動を積極的に取り入れている	B	B
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、広い場所で思いっきり体を動かす・園の宣伝・アピールもかねて運動会を広場で行った。整備など1年間を通じて準備をする必要があり難しい点もあるが、今年度の反省を生かして引き続き行っていきたい。 ・廊下を走らない・挨拶のできる子という園目標に職員全体が意識を持って取り組めるようになってきたことは良かったと思う。できる子・できない子の差があり引き続き指導していきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より先生たちの意識、評価が上がっているようなので頑張っている様子が感じられます。 ・明るく声をかけてくれる子どもも多くかわいらしい。 ・あいさつなどは園だけでなく家庭でも行っていかないと難しいところもある 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも、伝えて園と家庭の両方であいさつのできるようにしていきたい。 		

保育の計画性

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	A	B
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室だけでなく廊下やホールも環境のひとつであると考え充実させていきたい。職員全体が意識し園全体に目を向けていけるよう努力したい。 ・1年を通してテーマを決め取り組めたことは良かった。 ・点と点がつながり線となるよう計画をたてて進められると良いと思う。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの中でもできることを考えてやっている様子がうかがえて良かった。 ・運動会の広場は早い時期から先生たちが整地、整備を進められていて、盛大に行われて良かった。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・広場の整備は大変だと思うが、これからも計画的にすすめていきたい。 		

保育の在り方・幼児への対応

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている	A	A
2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	A	B
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・担任だけでなく、職員間で子どもの様子や成長について共有し指導をしていくことができたことは良かった。 ・家庭環境の違いもあり、園だけでなく家庭との連携をしていくことが必要だと感じられることもあった。 ・時間を作り職員同士が話し合い園全体で子どもの姿を理解し成長へと導いていけるよう努力したい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1については昨年より先生たちの評価が上がっているようなのでA評価で良い。 ・3については昨年より下がっているのが残念。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教師同士の話し合いは必要なことなので少しでも改善できるよう努力していきたい。 		

教師としての資質や能力・良識・適正

	内 容	評価員	職員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	A
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身が環境のひとつであることを意識し保育していきたい。 ・子どもにとって何が必要かを考え行動できるようにしたい。 ・個々がアンテナを高くし情報を得ることで、園全体のレベルを上げていきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研究保育をみせてもらいましたが、パソコンを保育の中に取り入れた新しい挑戦をしている様子も見られて良かった。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校でもタブレットを用いての授業やリモートも進んでいるので、難しいこともあるが新しいことに挑戦していくことも大切。 		

保護者への対応

	内 容	評価員	職員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	A	B
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりも多く写真を載せることで園での様子を伝えるようにしてきた。 ・保護者へ伝える際、受け取り方も様々ということにも配慮しながら、言葉を選んで伝えるようにしたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳機を取り入れ対応できるようになったことは子どもの安心につながり良かった。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を上手に使い、園での様子など職員の方から積極的に伝えていきたい。 		

地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	評価員	職員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	A	B
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染の心配から、今まで同様といかないこともあるが何ができるかを考え、アイデアを出し合い活動できるようにしていききたい。 ・お散歩等で地域の方と会う機会を重ねることで少しずつあいさつできる子も増えてきたことは良かった。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも農園や、ビオトープなどを利用し活動できて良い。 ・先生たちの評価が昨年よりも上がっていてコロナとの付き合い方も工夫されているように感じられる。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育を通じて文字や数字の知識、やる気などが育っているように感じられるがそれがどのように小学校に生かされていくのか…見えていけるといい良いと思う。 		

研修と研究

	内 容	評価員	職員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	B	B
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持っての研修・研究を重ねた	B	B
3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	A	A
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育の振り返りを学期末ごとに行うことができて良かった。継続していくことで今後も学んでいきたい。 ・モンテッソーリ教育の時間だけでなく、朝の自由時間等やりたい子ができる環境を作れたことは良かったと思う。場所の確保には課題が残る。 ・研究保育を見せてもらうことで刺激を受け、学ぶことも多くあり良かった。 		

評価	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちがもっと高いところをという意識でいるからBという評価になっていると思う。 モンテッソーリ教育は好きなものだけでなく基本的な文字や数字もやっていて自然と覚えていけて良い。 子どもたちがやりたいと興味を持てる工夫がされていて良いと思う。 子どもたちからもモンテッソーリ楽しい、好きという声も聞かれています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に先生たちが自己課題を意識するという意味で文字で書く、言葉にするなどしていくことも大切。 モンテッソーリ教育の教具も増えているようなので、研究保育にも取り入れていけるように努力していきたい。

その他

反省	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍の言葉の理解の難しい子が増えていく中で、翻訳機を利用し伝えることができるようになったことは良かった。保育中においては時間の余裕がなく利用できないこともあり課題は残る。 広場農園、ビオトープの整備など計画的に進めていく必要性を感じるが時間の確保が難しいと感じるところもある。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳機を取り入れ対応できるようになり良かった。子どもの安心につながって良いと思う。 コロナのことを考慮しながら1週間の自由参観を行うのは保護者にとっても良いと思う。(作品展も見られて良いと思う)